

Harmony among People,
Technology, and Environment.



株 主 の 皆 様 へ

第93期 営業のご報告

2025年4月 1 日から
2026年3月31日まで

CONTENTS

企業理念	1
トップメッセージ	1
連結財務ハイライト	1
事業別の概況	4
連結財務諸表	5
会社情報	6



高圧ガス工業株式会社

証券コード 4097

高圧ガス工業グループ 企業理念

- 1.「人と技術と環境の調和。無限の可能性に挑む。」という理念のもと、「創業の精神を忘れずに、アセチレンバウム（アセチレンの樹）の夢を追い求めて、限りない可能性の炎を燃やし続ける」グループ企業をめざします。
- 2.「株主」及び「取引先」各位ならびに「従業員」を三位一体と考え、公正妥当な倫理基準に基づいた事業活動を通じて、社会に貢献できる経営を行ないます。
- 3.全般的な経営の効率化を地道に推進し、企業体質の健全性を維持しながら、企業価値を高め、事業規模の拡大をはかります。
- 4.「安全・安心をすべての基本姿勢」とし、創業以来一貫して、この姿勢を貫いております。
- 5.「地域に密着した企業ブランド」を構築し、存在感のあるグループ企業をめざします。



バウム (Baum) は、ドイツ語で『樹』を意味します。創業の原点であるアセチレン事業を大樹の幹とし、アセチレンを起点とした事業展開により枝葉を伸ばしていく。この想いが『アセチレンバウムの夢』であり、企業理念の根幹となっています。

トップメッセージ



代表取締役社長

黒木 幹也

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

当社グループの第93期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

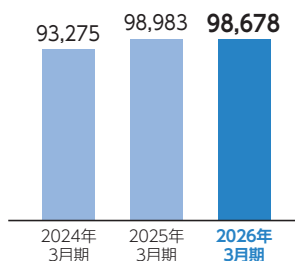
2026年3月期の業績概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要などにより緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、海外情勢の緊迫化や資源・エネルギー価格の高騰に伴う物価上昇、また、金利変動の影響などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

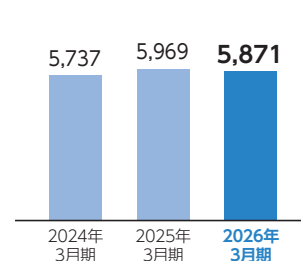
このような状況のなか、当連結会計年度の売上高は986億

連結財務ハイライト

売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



78百万円（前期比0.3%減少）、営業利益は58億71百万円（前期比1.6%減少）、経常利益は69億51百万円（前期比4.6%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は46億61百万円（前期比2.5%減少）となりました。

次期の見通しと今後の取り組みについて

当社グループでは、今後も不透明な市場環境・経済環境が継続することを念頭に、2026年度から新たにスタートする中期経営計画に掲げた目標達成に向けた成長戦略を着実に実行してまいります。また、事業基盤の構築とともに、当社の企業理念である「人と技術と環境の調和。無限の可能性に挑む。」に基づき、すべてのステークホルダーの皆様との共栄と社会課題への積極的な取り組みを推進してまいります。

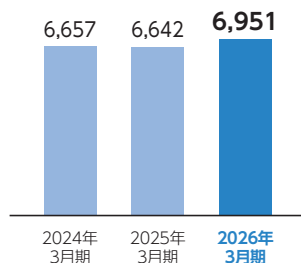
収益力の強化として、製造工程の合理化・原価低減・経費の効率的配分・適切な在庫管理の徹底及び生産体制の再構築と製造設備や供給設備の増強・新設への積極的な投資を通じて収益性・効率性の高い事業基盤を構築するとともに、地域に密着した事業展開と今後の需要拡大が見込まれる成長分野への積極的な営業活動を継続することで収益基盤の強化をはかってまいります。

ガス事業においては、半導体をはじめとする電子産業市場の開拓を進めるとともに、環境負荷の低い液化アンモニア・水素ガス・新冷媒ガスや農業向け炭酸ガスの拡販と供給網整備の推

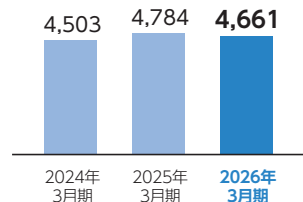
進、特殊ガスにおいては、製造設備増強による国内外市場への展開推進をはかってまいります。また、カーボンニュートラルの取り組みとして、アセチレンを原料とするカーボンナノチューブや難燃剤など付加価値の高い製品の市場投入を進めるとともに、CO₂の直接排出量を90%以上削減できる常圧スマート浸炭の普及など非燃焼分野での用途拡大に努めてまいります。研究開発においては、水素ステーションや水素発電向け大型蓄圧器及び特殊ガス用大型クリーン溶接容器の開発を推進するとともに、産官学連携によるガスリサイクルシステムの構築を通じて半導体分野等で使用される希少ガスの再生を促進することで、環境負荷低減にも貢献してまいります。

化成品事業においては、生活に密着した紙工・木工・化粧品分野への環境にやさしい製品の拡販及び住宅・設備・自動車・弱电・食品・医療分野へのユーザーニーズに合った高付加価値製品の販売を進めてまいります。また、新規開発品として、インク用・コーティング用のエマルジョン製品・次世代型の紫外線硬化型接着剤・住宅向けの超高耐候性塗料・ヘルスケア分野向けの皮膚縫合用高機能接着剤など、新たな各種用途への展開をはかってまいります。さらに、快適な生活環境の提供を目的とした製品として、雨音・振動を低減する吸音・制振材やアルミシートを複合した遮熱・断熱仕様の高機能制振材・自動車内装材の廃材を有効活用したりサイクル制振材を展開するとともに、太陽光を高反射する遮熱塗料・外装用高機能塗料・屋上防水層高機能保護塗料を拡販してまいります。

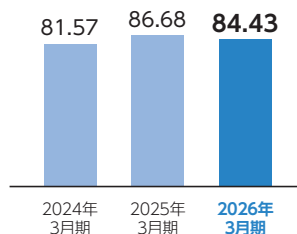
経常利益（単位：百万円）



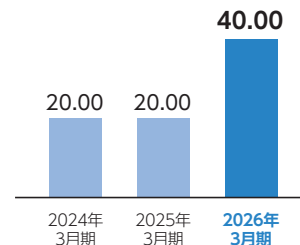
親会社株主に帰属する
当期純利益（単位：百万円）



1株当たり当期純利益（単位：円）



1株当たり配当金（単位：円）



海外展開としては、ベトナムのガス製造販売子会社及び接着剤・塗料製造販売子会社を拠点として日本市場で蓄積した事業ノウハウを活かしながらアジア圏を中心とした展開と欧米への高付加価値製品の拡販を推進するとともにグローバル人材の育成と積極的な人材確保により海外事業基盤を確立、物流体制においては、グループネットワークを活用した安定供給体制の強化・災害時における事業場間の応援輸送体制の構築・AI搭載の通信型ドライブレコーダーによる運転リスクの自動検知と安全運転支援、また、業務効率化・物流コストの合理化及び環境対策に積極的に取り組んでまいります。人材の確保と育成としては、年齢・性別・国籍等の属性によらない多様な人材採用・長期キャリア形成を見据えた人事制度の見直しによる評価・報酬体系の整備・研修制度の拡充と福利厚生の実施を通じた人的資本への積極投資により安心して働ける労働環境と働きがいのある企業風土の醸成、内部管理体制においては、グループ全社員へのコンプライアンス研修・管理職研修・グループ会社向け啓蒙活動、また、内部監査部門による実効性ある監査及び監査等委員や会計監査人との連携を通じて公正で透明性の高いコーポレートガバナンス体制の強化を推進してまいります。安全衛生管理体制としては、労働安全・労働衛生に関する課題への対応とグループ一体での労働災害防止・衛生環境整備・安全文化の醸成の取り組み推進、情報セキュリティにおいては、セキュリティツールの導入・定期的な運用見直し・グループ全体への情報発信・CSIRT（インシデント緊急対応チーム）の構築・インシデント対応訓練の実施により高度化するサイバーリスクへの対応体制の整備に取り組んでまいります。

2027年3月期 連結業績予想

売上高	1,010億円
営業利益	59億円
経常利益	70億円
親会社株主に帰属する当期純利益	46億円

資本コストや株価を意識した経営の実現においては、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため、PBRの向上を目標とするROE・PERの改善に着目し、事業戦略や投資・研究開発の遂行による業容拡大・利益成長・株主還元の強化を通じた資本構成の適正化に取り組むことで、グループ全体としての持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現してまいります。

株主還元について

株主還元につきましては、安定的かつ継続的な配当を実施するという基本方針に基づき、さらなる株主還元の強化と最適資本構成の実現に向けて、配当性向50%を目安にDOE2.5%を下限とする配当に努めております。

当事業年度の期末配当金につきましては、金20円とさせていただきます。2025年12月10日に1株につき金20円を中間配当金としてお支払しておりますので、1株につき年間合計40円となります。

今後も株主様への安定的かつ継続的な利益還元に努めてまいります。

株主の皆様へ

当社グループといたしましては、引き続き「安全」・「安心」をすべての基本姿勢として、既存事業の拡充と新たな価値の創出に積極的に取り組むとともに、経営環境の変化に柔軟に対応できる企業体質を構築し、組織の活性化に努めてまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月

事業別の概況



ガス事業

売上高 **734億70** 百万円
営業利益 **69億49** 百万円



売上高 (単位:百万円)

2026年3月期 **73,470**
2025年3月期 73,529

営業利益 (単位:百万円)

2026年3月期 **6,949**
2025年3月期 6,594

ガス事業を取り巻く環境は、国内での産業ガスや設備投資の需要減少が続くなか、半導体向けで一部回復傾向が見られたものの、鉄鋼、自動車、建設、食品などの仕向け先の需要回復は鈍く、原材料価格の高止まりが続く厳しい状況で推移いたしました。このような事業環境のなか、当事業では長年の事業活動により培われた強みを生かし、新規及びスポット案件の獲得など、地域に密着した営業に取り組み、生産・販売・物流体制の効率化をはかり、安全・安定供給に努め、シリンダーガスビジネスの持続的な成長や収益の改善に努めてまいりました。

産業ガス全般の売上高は、需要減少の影響がありましたが、新規案件の獲得や価格改定もあり前期を上回りました。また、機材全般の売上高は、仕向け先の需要減少により前期を下回りました。

『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は734億70百万円(前期比0.0%表示単位未満で減少)となりました。営業利益は69億49百万円(前期比5.3%増加)となりました。



化成品事業

売上高 **216億98** 百万円
営業利益 **7億56** 百万円



売上高 (単位:百万円)

2026年3月期 **21,698**
2025年3月期 21,568

営業利益 (単位:百万円)

2026年3月期 **756**
2025年3月期 856

化成品事業を取り巻く環境は、ナフサ価格は緩やかな下落傾向にあるものの、依然として原材料価格の高止まりが続く厳しい状況で推移いたしました。このような事業環境のなか、当事業では前期に新設した甲賀工場の生産体制の強化により、仕向け先への製品の安定供給に努め、また、新しい技術開発により、環境配慮型水性接着剤や高耐候性塗料など環境にやさしい製品や付加価値の高い製品づくりに努めてまいりました。

接着剤全般の売上高は、原材料価格の高騰に伴う価格改定もありましたが、前期を下回りました。塗料全般の売上高につきましては、塗料製品の出荷数量の減少により前期を下回りました。

化成品取扱い商品の増加もあり、『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は216億98百万円(前期比0.6%増加)、営業利益は甲賀工場のコスト等の影響もあり7億56百万円(前期比11.6%減少)となりました。



その他事業

売上高 **35億9** 百万円
営業利益 **△91** 百万円



売上高 (単位:百万円)

2026年3月期 **3,509**
2025年3月期 3,885

営業利益 (単位:百万円)

2026年3月期 **△91**
2025年3月期 93

LSIカード関連、食品及び食品添加物の需要が減少し、当事業の売上高は35億9百万円(前期比9.6%減少)、営業損失は91百万円(前期は営業利益93百万円)となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要約) (単位:百万円)			
	第92期 (2025年3月31日現在)	第93期 (2026年3月31日現在)	増減額
流動資産	64,644	61,490	△3,154
固定資産	58,349	61,891	3,541
流動負債	29,468	28,230	△1,237
固定負債	13,833	10,149	△3,684
純資産	79,692	85,001	5,309
総資産	122,994	123,381	387

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (単位:百万円)			
	第92期 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)	第93期 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	6,421	8,002	1,581
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,086	△4,448	638
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,093	△6,345	△5,251
現金及び現金同等物 の期末残高	28,760	26,028	△2,732

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要約) (単位:百万円)			
	第92期 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)	第93期 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)	増減額
売上高	98,983	98,678	△305
営業利益	5,969	5,871	△98
経常利益	6,642	6,951	308
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,784	4,661	△122
1株当たり当期純利益	86円68銭	84円43銭	△2円25銭

期末配当

期末配当金は当社普通株式1株につき金20円となりました。

期末配当金 1株につき金20円 総額1,104,068,140円

支払開始日 2026年6月25日

会社情報

会社概要 (2026年3月31日現在)

商号	高圧ガス工業株式会社
設立	1958年6月26日
資本金	28億85百万円
従業員	877名
本社	大阪市北区中崎西二丁目4番12号 (梅田センタービル28階) 電話06(7711)2570(代表)
東京事務所	東京都千代田区内幸町一丁目2番1号 (日土地内幸町ビル9階) 電話03(3595)3128(代表)
営業所	20カ所
出張所	4カ所
工場	14カ所(ガス事業) 3カ所(化成品事業)
研究所	2カ所

役員 (2026年6月24日現在)

取締役

代表取締役社長	黒木 幹也	取締役 常務取締役 監査等委員	松井 良祐
代表取締役副社長	説田 和洋	取締役 監査等委員	山村 忠夫
取締役	森本 孝	取締役 監査等委員	長島 広明
取締役	池田 佳弘	取締役 監査等委員	西片 和代
社外取締役	中野 健次		

執行役員

社長執行役員	黒木 幹也	執行役員	中村 貴雄
副社長執行役員	説田 和洋	執行役員	西川 隆浩
専務執行役員	森本 孝	執行役員	立谷 保
専務執行役員	森田 和博	執行役員	安部 悟
専務執行役員	池田 佳弘(昇任)	執行役員	池田 剛
常務執行役員	中村 顕	執行役員	鈴木 克典
執行役員	野杵 達也	執行役員	大川 武臣
執行役員	加藤 尊康	執行役員	中井 康夫
執行役員	福井 雅則	執行役員	福地 真也
執行役員	高山 昭彦		

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

株式の状況 (2026年3月31日現在)

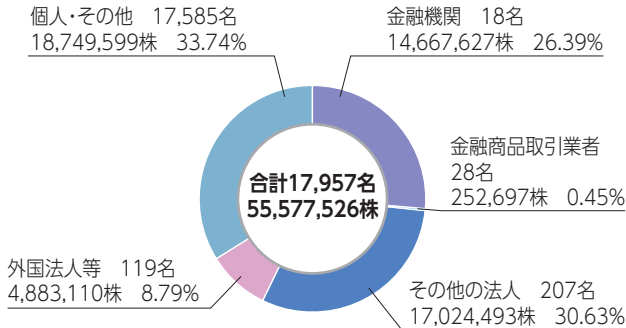
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	55,577,526株
株主数	17,957名(前期末比13,106名増加)

大株主 (2026年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
こうあつ共栄会	7,462	13.51
デンカ株式会社	5,457	9.88
共栄火災海上保険株式会社	4,003	7.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,175	5.75
日本酸素ホールディングス株式会社	3,142	5.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	2,717	4.92
株式会社三菱UFJ銀行	2,471	4.47
東洋電化工業株式会社	2,430	4.40
高圧ガス社員持株会	1,538	2.78
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	929	1.68

(注) 持株比率は、自己株式(374,119株)を控除して算出しています。

所有者別株式分布状況 (2026年3月31日現在)



株主メモ

事業年度末日 毎年3月31日

定時株主総会 毎年6月

定時株主総会基準日 毎年3月31日

剰余金配当基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場

1単元の株式の数 100株

株主名簿管理人 〒100-0005
(特別口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

お問い合わせ先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 (通話料無料) 0120-094-777

手続き用紙のご請求 住所変更や配当金振込先のご指定など、株式に関する諸手続きに関しましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

ご所有の株式を特別口座にて管理している株主様につきましては、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(上記の「お問い合わせ先」)にお問い合わせください。なお、一部の書類については三菱UFJ信託銀行のホームページ<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>から取り出し、請求することができます。

公 告 方 法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL
<https://www.koatsugas.co.jp/>



当社Webサイトで各種情報を公開しております。
ぜひ、ご覧ください。

<https://www.koatsugas.co.jp/>



高圧ガス工業 🔍 検索



高圧ガス工業株式会社

大阪市北区中崎西二丁目4番12号(梅田センタービル28階)
電話 06 (7711) 2570 (代表)
<https://www.koatsugas.co.jp/>

